

古橋宜昌の EX プランニング講座 第2回

# 門まわりのデザイン

門まわりは「家の顔」と呼ばれるほどエクステリアにおいてはとても重要な部分です。

どんなに予算が厳しい場合でも、この門まわりのデザインや素材はこだわりを持って提案したいものです。

デザインの傾向としては、壁の高さをあまり高くしないで圧迫感をなくし、凹凸感を出しながら植栽とうまく組み合わせたものが好まれています。

素材としてはさすがに普通ブロックのみという事はないと思いますが、化粧ブロックでも色や質感、笠木の処理などにこだわりを持ちたいものです。最近では、普通ブロックを下地としてその表面を塗り材で仕上げる左官仕上げやタイル、スライス煉瓦等を圧着工法で貼るものなどが人気があるようです。

勿論、煉瓦積みや自然石などを採用すれば高級感もアップし、見栄えも良くなることは言うまでもありません。

それでは具体的にプランニングのポイントを解説していくことにしましょう。

## 門構えのスタイルと特徴

1



### クローズスタイル

クローズスタイルとは塀や門扉、カーゲート等で道路面を囲ったものを言います。道路境界ぎりぎりに門扉を配置したり、高い塀で囲っただけのデザインではあまり魅力的なプランにはなりません。壁の構成や植栽スペースの確保、素材の組み合わせなどを工夫すれば素敵なプランとする事も十分可能です。また最近ではセキュリティーの面からもクローズスタイルを希望される方も増えており、今後益々細部までこだわった魅力的なクローズプランを提案できるデザイナーが求められる事でしょう。



### オープンスタイル

オープンスタイルとはクローズスタイルの逆で、塀で囲わないで誰もが自由に入出入り出来る開放的なプランを言います。勿論、構造物が少ない分植栽等で補わなくては魅力的なものにはなりません。素材も出来るだけ存在感のあるものを選び、植栽とのバランスにも注意を払わなくてはなりません。セキュリティーの面でもセンサーや照明、踏むと音の出る砂利敷きなどを積極的に提案する必要があるでしょう。



### セミオープンスタイル

セミオープンスタイルとは、クローズスタイルとオープンスタイルの中間的な存在で、適度な囲いと開放感のバランスがポイントとなります。魅せる部分と隠す部分を明確にしてからデザインする事が大切で、勿論植栽とのコーディネートも忘れてはなりません。壁や角柱を計画する場合は機能的な寸法と、全体バランスの双方から検討し、構造物の大きさや配置を決定すると良いでしょう。

古橋宜昌 (ふるはしのりまさ)

生年月日：1958年4月6日  
 東京電機大学理工学部建設工学科卒。  
 有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア & ガーデンアカデミー東京校長  
 一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。  
 JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員  
 大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。  
 個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、その設計事例は多くのガーデンニング専門誌等で紹介されている。  
 ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。  
 設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。



ホームページアドレス <http://exp.lanning.m78.com>

## 袖壁の基本寸法

2

A：メインの袖壁の幅  
 ポストや表札、インターホンなどが付く側の袖壁の幅は800mm以上確保しましょう。無理な場合は縦型の口金ポストか、別にアメリカンポストを組み合わさる必要があります。

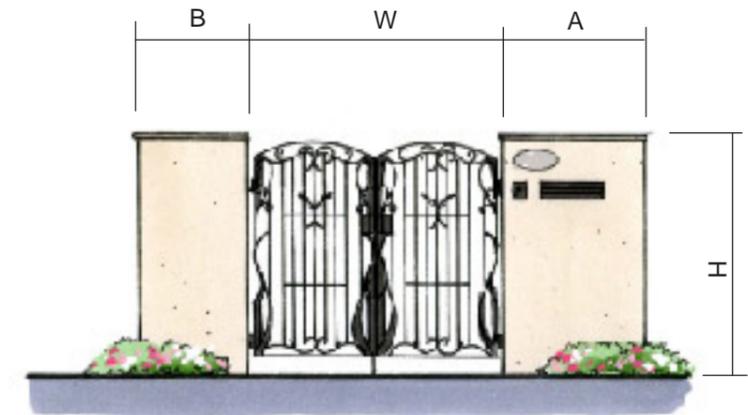
B：サブの袖壁の幅  
 一方、何も付かない壁はメインの袖壁よりも多少小さめにし、バランスをとると良いでしょう。もし、同じ寸法で計画する場合は間延びした感じにならないようスリットや小窓、照明などでアクセントをつける事をおすすめします。

W：間口寸法

門扉をつける場合は門扉のサイズに合わせる事になりますが、つけない場合でも後に簡単に既製の門扉が取り付けられる様寸法を合わせておく方が良いでしょう。一般的には1,400mmが標準です。

H：袖壁の高さ

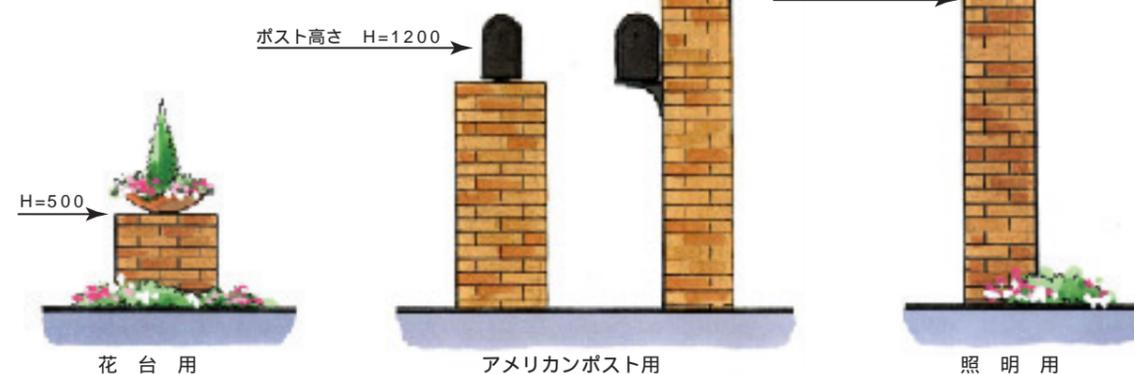
壁の高さは目の高さと同ほほぼ同じ1,500mm程度を標準とします。それ以上高いと高級感が出る反面、圧迫感も出てきます。逆に低いと開放的になりますが安っぽい感じになる事もありますので注意しましょう。



## 角柱の基本寸法

3

### 3-1 高さについて



花台の高さは周囲の植栽の有無にもよりますが500mm程度が良いでしょう。アメリカンポストを付ける場合はポストの中心高さが1,200mm前後になるよう角柱の高さを調整します。照明を上部に付ける場合は眩しくならない様1,400~1,500mm程度とします。